

# 【プログラム】

受付開始 09 : 00～

9 : 30 開会の挨拶 宮澤 恵二（平成 25 年度関東支部例会 代表世話人 山梨大学 医学部）

## Session1 一般演題 口演／午前の部（09 : 40～10 : 10）

---

座長 : 楠木 正巳（山梨大学 生命環境学部）

: 平 敬宏（東邦大学 医学部）

9 : 40 S1-1 「膜脂肪酸飽和化と異常タンパク質蓄積による小胞体ストレス応答の違い」

○北井 祐人、有山 博之、河野 望、新井 洋由

東京大学大学院 薬学系研究科 衛生化学

9 : 55 S1-2 「プロテインジスルフィドイソメラーゼ-P5 によるジスルフィド分子間異性化機構の解明」

○宮川 美保<sup>1</sup>、嶋原 俊太郎<sup>2</sup>、瑞慶覧 剛輔<sup>1</sup>、富岡 鉄太郎<sup>1</sup>、赤間 邦子<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>千葉大院・理・化、<sup>2</sup>千葉大・理・化、<sup>3</sup>千葉大・普遍教育センター

## Session2 企画講演（10 : 10～11 : 10）

---

座長 : 楠木 正巳（山梨大学 生命環境学部）

: 平 敬宏（東邦大学 医学部）

10 : 10 S2-1 「アルツハイマー病の治療・予防・診断法の確立を目指して」

斉藤 貴志

理化学研究所・脳科学総合研究センター、JST さきがけ研究者兼任

10 : 35 S2-1 「構造生物学と生化学から迫るオートファジーの分子機構」

野田 展生

公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 分子構造解析部

11 : 00～11 : 10 総合討論

11 : 10～11 : 25 ～休憩～

11 : 25 平成 26 年度関東支部例会 代表世話人挨拶 石見 幸男 (茨城大学 理学部)

---

### Session3 特別講演 (11 : 30~12 : 30)

---

座長 : 大塚 稔久 (山梨大学 医学部)

11 : 30 **PL** 「動物の行動や情動を操る化学感覚シグナル」

東原 和成

東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻

12 : 30~13 : 40 ~ 昼食 ~ (代議員会: 大学会館 2 階セミナー室)

---

### Session4 ミニシンポジウム (13 : 40~15 : 20)

---

座長 : 宮澤 恵二 (山梨大学 医学部)

13 : 40 **S4-1** 「ポリユビキチン化を介した転写因子 NF- $\kappa$ B の活性制御機構と疾患発症への関与」

井上 純一郎

東京大学医科学研究所 癌細胞増殖部門 分子発癌分野

14 : 10 **S4-2** 「肝臓のサイズとがん発症を制御する Hippo シグナル伝達系」

仁科 博史

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 発生再生生物学分野

14 : 40 **S4-3** 「ChIP-Seq が明らかにする TGF- $\beta$  ファミリーシグナル調節機構の多様性とその意義」

鯉沼 代造

東京大学大学院医学系研究科 リーディング大学院

15 : 10~15 : 20 総合討論

---

### Session5 ポスター&coffee (15 : 25~16 : 25)

---

**Session6 一般演題 口演／午後の部 (16 : 30~17 : 40)**

---

座長 : 齋藤 正夫 (山梨大学 医学部)

16 : 30 **S6-1** 「**KDM2A 遺伝子がコードする脱メチル化活性を示さない SF-KDM2A(short form of KDM2A)はリボソーム RNA 転写を正に制御する**」

○岡本 健吾, 田中 祐司, 常岡 誠

高崎健康福祉大・薬

16 : 47 **S6-2** 「**リサイクリングエンドソームに豊富に存在する脂質 (ホスファチジルセリン、スフィンゴミエリン) を可視化するプローブの開発**」

○内田 安則<sup>1</sup>、谷地 理恵子<sup>1</sup>、松平 竜之<sup>1</sup>、Gregor Anderluh<sup>2</sup>、小林 俊秀<sup>3</sup>、田口 友彦<sup>1</sup>、新井 洋由<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院 薬学系研究科、<sup>2</sup>National Institute of Chemistry, Slovenia、<sup>3</sup>理化学研究所 基幹研究所

17 : 04 **S6-3** 「**G タンパク質共役型受容体、G2A はヒトアストロサイトーマ細胞株のがん幹細胞性を制御する**」

○岸本 幸治<sup>1</sup>、原口 崇<sup>1</sup>、清水 健志<sup>1</sup>、山口 藍子<sup>2</sup>、吉原 利忠<sup>3</sup>、大島 紀安<sup>1</sup>、立井一明<sup>1</sup>、飛田 成史<sup>3</sup>、飯田 靖彦<sup>2,5</sup>、対島 義人<sup>2,4</sup>、和泉 孝志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>群馬大学大学院医学系研究科生化学、<sup>2</sup>医学系研究科バイオイメージング情報解析学、<sup>3</sup>理工学研究院分子科学部門、<sup>4</sup>医学系研究科放射線診断核医学、<sup>5</sup>鈴鹿医療科学大学薬学部臨床分析技術学

17 : 21 **S6-4** 「**核内受容体 PPAR  $\delta$  リガンド結合ドメインとパーシャルアゴニスト JK122 の複合体結晶構造**」

○大山 拓次<sup>1</sup>、中村 仁美<sup>1</sup>、春日 淳一<sup>2</sup>、宮地 弘幸<sup>3</sup>、楠木 正巳<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山梨大学、<sup>2</sup>東京大学、<sup>3</sup>岡山大学

17 : 40 ポスター賞発表・表彰 閉会の言葉

---

**懇親会 大学会館・ラウンジ (18 : 00~19 : 30)**

---